

DESIGN

AND SCIENCE FOR HUMAN LIFE

活水女子大学 健康生活学部

生活デザイン学科

作品選集

贈るデザイン

山口 綾子

使用ソフト Adobe Illustrator

友人へ贈るご祝儀袋を、春夏秋冬をイメージしてデザインした。どの作品にも日本の伝統文様を取り入れて和にこだわった。



枇杷のブランディングデザイン

若杉 美穂

使用ソフト Adobe Illustrator

「長崎と枇杷」「もらって嬉しいパッケージ」をテーマに、長崎の特産品である枇杷を贈ることで長崎の良さや魅力をより多くの人に知ってもらえ考えた。三種類の展開とし贈る相手によって選べるようにしている。



磁器による灯りのデザイン

山下 琴美

ポット W90×H60

プレート W110×H20

白磁 石膏型鑄込成形酸化焼成

ロクロでひいた原型を元に、鑄込用の石膏型を制作。透光性のある白磁土にケイ酸ソーダを混ぜて泥しろうをつくり、石膏型に流し込んで成形。歪みを抑えるため、1180℃酸化焼成した。





平面から立体への展開 『水族館』

渡部 あゆみ

珊瑚ポップアップ (オブジェ)
グリーティングカード (5種類)

海の生き物を題材に、CGでデザインをして紙を主素材に制作した。開くだけで平面から立体へ展開するポップアップ構造。グリーティングカードは水族館の水槽に見立てデザインしており、開くと海の生き物たちが立体的にとび出してくる。コンセプトは「贈って飾れる水族館」。



「あなたは何色？」絵本

鶴丸 沙友理

W205×D185×H10
本体 全24ページ B5横型 マット紙

「色」は感情とも深い結びつきがあり、個性を表すツールの一つである。新しい自分との出会う機会をつくりたいという思いを込めて「色」をテーマにした絵本をデザイン制作した。

白磁テーブルウェアの デザイン制作とブランディング

湯浅 滯

プロダクト：プレート、カップ、箸置（白磁石膏鑄込成形）
ブランディング：ロゴタイプ、パッケージほか

北極の美しい風景を感じるテーブルウェアをコンセプトにブランド「kyokuhoku」（キョクホク）をデザイン展開した。原型、石膏型の制作からプロダクト及びブランディングまで行なった。



絵本「SPOON」

一写真とイラストレーションによる絵本のデザイナー

志岐 亜衣

W210×D10×H210

本体 全32ページ

使用ソフト Adobe Illustrator, Adobe Photoshop

私たちにはいくつもの出会いがあり、出会いによって変化・成長していく。たとえ、出会った人や出会ったものと別れることになったとしても、記憶や思い出として私たちの中に残り続ける。記憶や思い出という目に見えないものを、絵本というかたちで表現した。





「長崎べっ甲」 プロモーションデザイン

友池 知郁

シンボルマーク ロゴタイプ マニュアル

法被：シルク印刷

パッケージ：オフセット印刷

べっ甲細工の技術は、鎖国時代に長崎の出島へ伝わりました。約300年かけて大切に継承され、今年（2017年）国の伝統的工芸品に認定された。浜谷ゼミは日本べっ甲協会青年部の方々と1年前から連携し、後継者不足や材料枯渇などの問題を改善できるように研究している。私は、プロモーションデザインの1つとしてロゴマークをデザインし、それをベースにプロダクトへ展開した。



ひらがなのタイポグラフィ —ペーパークラフトを用いた表現—

後田 菜子

W1900×D11×H925 タント紙、千代紙、和紙

ひらがなのタイポグラフィを用いて日本らしさを表現できるデザインに仕上げた。細長い紙を丸めるクイリングという技法を使用。



絵本「くたくた ハムちゃん」

濱 浩美

W198×D9×H201 本文 32ページ

使用ソフト FireAlpaca, Adobe Illustrator

テーマは「モノを長く大切にすること」。モノは手の届くところに溢れていて、良くも悪くもすぐに手に入ってしまう。しかし、今あるモノを捨ててしまう前に繕ったり、磨いたり、修理したり、可能な限りの手入れをすることで、愛着が湧いていく。そのようにモノと付き合うことを、絵本というかたちで表現した。



交流を図りつつ、観光客の回遊性を 促すカフェラウンジ ー内装提案ー

長岡 恭子

長崎への旅行者と地元の人々の交流拠点であり、旅行者の回遊性を促すカフェラウンジを提案した。旅行者の休憩と情報提供、ワークショップ等による交流が、長崎らしさのある、一つの空間で実現する。それぞれの様子を知る機会を生み、互いが接点を持つことで、旅行者へも次のステップを促す。



「障子の穴から見る」

道原 颯紀

障子紙と写真を使用したインスタレーション作品。正面から見て縦軸手前が過去、奥を未来とし、横軸には大学時代の4年間を象徴する写真を配置した。作品の中央には変わらない自分自身を電球で表現し、障子紙の揺れや透ける写真を透して、過去、現在、未来を感じられる作品とした。

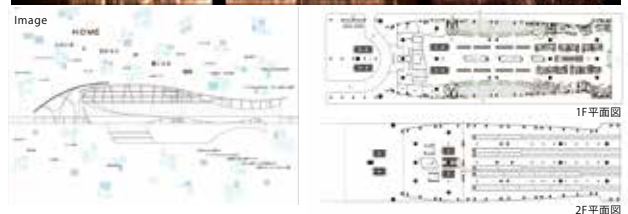


The Nagasaki Station —HOME—

鳥巢 綾美

A1パネル6枚、建築模型

異国情緒に溢れ、多くの歴史が息づく長崎の街。その街の顔となるような駅の設計に取り組んだ。長崎を訪れる人に、長崎を知ってほしい。様々なモノが流れ、時が流れ、多くの人が行き交う賑やかな長崎。長崎港を望む場所にあり、長崎らしさを身体全体で感じることができる。長崎を訪れる人、長崎を愛する人の心が暖かく、豊かになるような駅を目指した。





繋ぐーコミュニティの形成を促進する仮設住宅の提案ー

柿本 幸愛子

仮設住宅 : 木造、地上一階、延床面積: 40㎡
 みんなの家 : 木造、地上一階、延床面積: 133㎡
 【模型材料】 スチレンボード、パルサ材、プラスチック板

熊本地震で多大なる被害を受けた熊本県、そして地元甲佐町のために、また被災者の一人として、何か自分にできることをしたいという想いから、卒業制作で仮設住宅について研究をするに至った。今回の熊本地震で特に問題視された「孤独化」に着目。現地で、被災者に対しアンケート調査やヒアリング調査を重ね、コミュニティの形成の促進が図れるような仮設住宅を提案する。



長崎の中心市街地にある 歴史的教会の再生

吉田 亜生

RC造 使用ソフト Adobe Illustrator、jwcad
 【模型材料】 スチレンボード、プラスチック板

400年前、建築予定地であるこの県庁舎跡地に長崎で初めての教会が建てられた。しかし、禁教令によって長崎におけるキリスト教の信仰と文化は破壊されてしまった。現在、長崎に建つ教会堂の数々は潜伏キリシタンの時代から信仰が守られ継承されてきたものの証である。長崎がキリスト教文化に包まれていた時代の象徴とも言えるべきこの教会をこの現代に蘇らせ、長崎の街をキリスト教の平和に満ちた街へと再生させたいと思い、この土地に歴史的教会の再生を計画した。



子どもの居場所ー全天候型児童遊戯施設の提案ー

小川 千晶

木造建築一部RC造

使用ソフト jw_cad、Adobe Illustrator、Adobe Photoshop

子どもにとって遊びは最大の楽しみであり、生活の中の重要な要素である。天候に左右されずいつでも走り回れ、体を使った豊かな体験や遊びを通して自ら考え工夫し行動する力を養い、仲間遊びや、異世代との交流により、協調性を高めたりと有意義に過ごすことを目的とした児童遊戯施設を計画した。



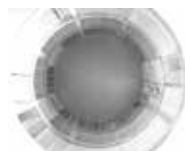
つながる図書館ー長崎県立長崎図書館移転に伴う代替案ー

甲斐 瑞菜

RC造、鉄骨造

使用ソフト jw_cad、Adobe Illustrator、Adobe Photoshop

「高齢化社会」をキーワードに長崎市の現状と利用者を考え、高齢者利用に特化した図書館施設を提案した。図書館に高齢者の交流の場を設けることで、本との出会い・人との出会いの場となり1つの高齢者コミュニティが形成され、高齢者がいきいきと暮らし情報発信する社会の実現を望む。また江戸町や出島の歴史的意味や文化的価値を象徴的に取り入れ計画した。



お母さん×時間ー保育園を中核とした複合施設の提案ー

別府 加奈子

鉄骨造

使用ソフト Adobe Illustrator、jwcad

近年では、女性の社会進出と共に、子育てと仕事の両立が図れないといったことや、女性が自分の時間を作れないといった様々な課題が取り上げられている。そこで、仕事と子育てで忙しい女性にとってのロス時間を、少しでも短縮できるような保育園中核型複合施設の提案を行う。この時間短縮からできる余った時間を、女性がやりたかったことや、くつろげる時間に回すことを目的としている。



私のオートクチュールドレス ～宇宙～

大淵 奈菜美

W950×D1000×H1350
サテン生地、パール、ほか

「自分の可能性」は宇宙のように無限大であることをコンセプトにしたオートクチュールドレスの作製。
裾の広がり、グラデーションに装飾したビジュで宇宙を表現した。



リメイク服で作る四季

北川 りほ

W600×D600×H1600×2着
80年以降の古着・はぎれ

80年代の服装をモチーフに、古着のリメイクで四季を表現した。春はフリルやリボンでオリブ少女スタイルに、秋はシャツやプリーツでプレッピースタイルに仕上げた。



ロシアのサラファン風デイドレス

原田 麻由

W1255×D1255×H1100
綿生地(赤)、ブラウス(白)、レース、
チロリアンテープ、コンシールファスナー

ロシアの民族衣装であるサラファンを元にデイドレスをデザインした。チロリアンテープを使用することでサラファンの雰囲気を出した。また、ブラウスにもチロリアンテープを使用し、統一感を持たせた。

Living with Water ー水と生きるー

鶴丸 祐子

728×1030

木製パネル、鉛筆、水彩色鉛筆、水彩絵の具、インクペン



タイポグラフィーによる季節の表現 CGによるフォントデザインとタイポグラフィー

西田 彩華

タペストリー 1200×1200

壁掛け 300×300

使用ソフト：Adobe illustrator

日本の四季をテーマにフォントをデザインし、応用としてタイポグラフィーによる表現を展開した。文字自体から四季の美しさを連想させる。



フォントデザイン～タイポグラフィー

江口 綾奈

使用ソフト Adobe Illustrator

Illustrator、PhotoshopなどのCGを用いて森をイメージしたフォントを自作し、タイポグラフィーによる表現をした。



インテリアデザインコンペ2019・2020入選作品



「睡眠誘導室」 坂本 吏音

2019年度入選作品

寝るため専用の部屋である。白い部屋で寝たら、どんな夢をみるのか、寝ること以外を持ち込まない、一人しか入れない部屋を提案した。服を着替え、荷物・スマホを棚におき、カーテンの膜の中へ、奥のベットへ向かう準備を整える。オフホワイトのカーテンが、入口からベット迄を緩やかな曲面でつなぐ。ベットもカーテンが軽やかに覆う。ファブリックと細やかな奥行き演出で、やわらかな幻想的な空間を作り上げた。



「日本を感じるゲストハウス」 全 恩恵

2020年度入選作品

2025年の大阪万博に際し、開催地近郊で「人とつながるゲストハウス」の共有スペースの設計提案が課題である。ファブリックの活用が条件であり、本作品は、各個室の入口に、暖簾という緩やかな仕切り方を活用した提案である。暖簾の素材や柄、また強固に仕切らない空間の設えにより、互いの気配を感じながら人と繋がる空間を提案し、日本文化もまた体験する提案である。

長崎市公用車ラッピングデザイン最優秀賞



田上市長との記念撮影



地球温暖化防止に向けた取り組み、低公害車普及促進の広告として、多くの市民に親しまれるような公用車（電気自動車）のラッピングデザイン公募において、生活デザイン学科 渡部あゆみさんのCGによるデザインが最優秀賞を受賞。長崎市公用車として市内を走行中！

セブン&アイ「彩★長崎がんばらんば弁当」デザイン



セブンイレブンと長崎の弁当を商品開発した。本学の食生活健康学科の学生が中身を考案し生活デザイン学科のプロダクト系ゼミ学生が商品のロゴやパッケージからポスターやPOPなど販促グラフィックまでデザインして発売!



「長崎くんち」手ぬぐい・Tシャツをデザイン

長崎くんち



湯浅澤さん

全国キリスト教学校教育同盟 100周年ロゴデザイン 採用

■オリジナル



■使用例 中村友美さん



■カラーCMYK値



実践的デザイン・プロジェクト オリックス生命 壁画 企画デザイン



オリックス生命と浜谷ゼミの企業連携プロジェクトで、新築オフィスビルの11階カフェテリアに設置する幅10M×高さ1.6Mの壁画を企画し、CGでデザイン制作しました。ゼミでは、地域の方々と共に課題解決に役立てるよう取組んでおり、現場で見て聴いて寄り添って問題の本質を探ることを大切にしています。共感力から課題発見力、企画力など実践を通してデザインの思考力を養っています。緊張しながらも堂々とした発表でした。長崎には世界遺産や多様な文化・歴史があり、坂本龍馬を海を臨み大志を抱いたであろう素敵なロケーションを活かし、長崎らしさ、平和、祈りがコンセプトです。

2019年度 浜谷ゼミ4年 浦、若杉、前田、栗本、木村、松田、山口

三和ゆめランド 長崎ゆめびわ茶 商品企画デザイン



2012 モンドセレクション銀賞



長崎ペンギン水族館

中村友美さん



長崎半島野母崎にある「三和ゆめランド」（障がい者の自立支援施設）の皆さんが心を込めてつくる美味しい健康茶「長崎ゆめびわ茶」の販路拡大を目指して、マーケティングから販売促進まで生活デザイン学科 浜谷研究室とコラボしました。中村友美さん、湯浅澤さんが長崎限定商品キャラクターもデザイン。好評発売中！

西海パールリゾート

湯浅澤さん



ホテルクオーレ長崎駅前 女性専用フロア企画デザイン



CGによるアイデアスケッチ



プロダクト企画プレゼンテーション



快適な宿泊の時間をデザイン 2013.2リニューアルオープン！

JR長崎駅正面のホテルクオーレより、女性専用フロア全面改装にあたりデザインの協力依頼。マーケティング調査から宿泊時の過ごし方をデザイン。エレベーターホールなど共有部分、客室のインテリアや照明など特典サービスとアメニティグッズまでCGで描き提案。お客様によるロビーでの投票により、湯浅澤さん上戸愛理さんのデザイン案が採用！特別感たっぷり、アーバンモダンでリラックスできる素敵なデザイン。

長崎市民病院機構 職員IDカードをデザイン！

病院職員による投票で、本学生活デザイン学科
久松美由希さんのデザインが採用されています。



長崎市 まちぶらプロジェクト認定



私たちの活水学院を含む東山手・南山手地区の魅力を届けていくため、長崎市や地域の皆様と共に様々な取組みをしてきました。南山手地区町並み保存会と生活デザイン学科のゼミとの取組み“しおり型観光情報グッズ”『洋館とりっぷ』が長崎市まちぶらプロジェクトとして認定されました。

伝統工芸×ブランディングプロジェクト

4年
伊藤 穂波
生越 萌
小峰 千夏
定富 優紀
富澤 ひかる
友池 知郁
中ノ瀬 由莉
松山 彩夏
山本 夏子

3年
朝倉 和美
後田 菜子
大崎 絢子
木下 遥
小屋 美南
下釜 知優季
中本 理奈
山口 美月
吉田 永

一般社団法人 日本べっ甲協会 × 長崎県 × 生活デザイン学科浜谷ゼミ

(社) 日本べっ甲協会とのプロジェクト。長崎の伝統的工芸であるべっ甲の抱える様々な課題解決や、より多くの人に価値を伝えるために、長崎べっ甲のブランド化へ向けて、長崎県や地域の皆様と共に連携協力しています。職人さんの工房訪問、制作体験など「出会い」を通して歴史や技法を学び、消費動向アンケート調査、意見交換等を重ねてきました。長崎べっ甲のロゴマークのデザインが出来き、現在はプロモーションやプロダクトのデザイン提案について研究しています。



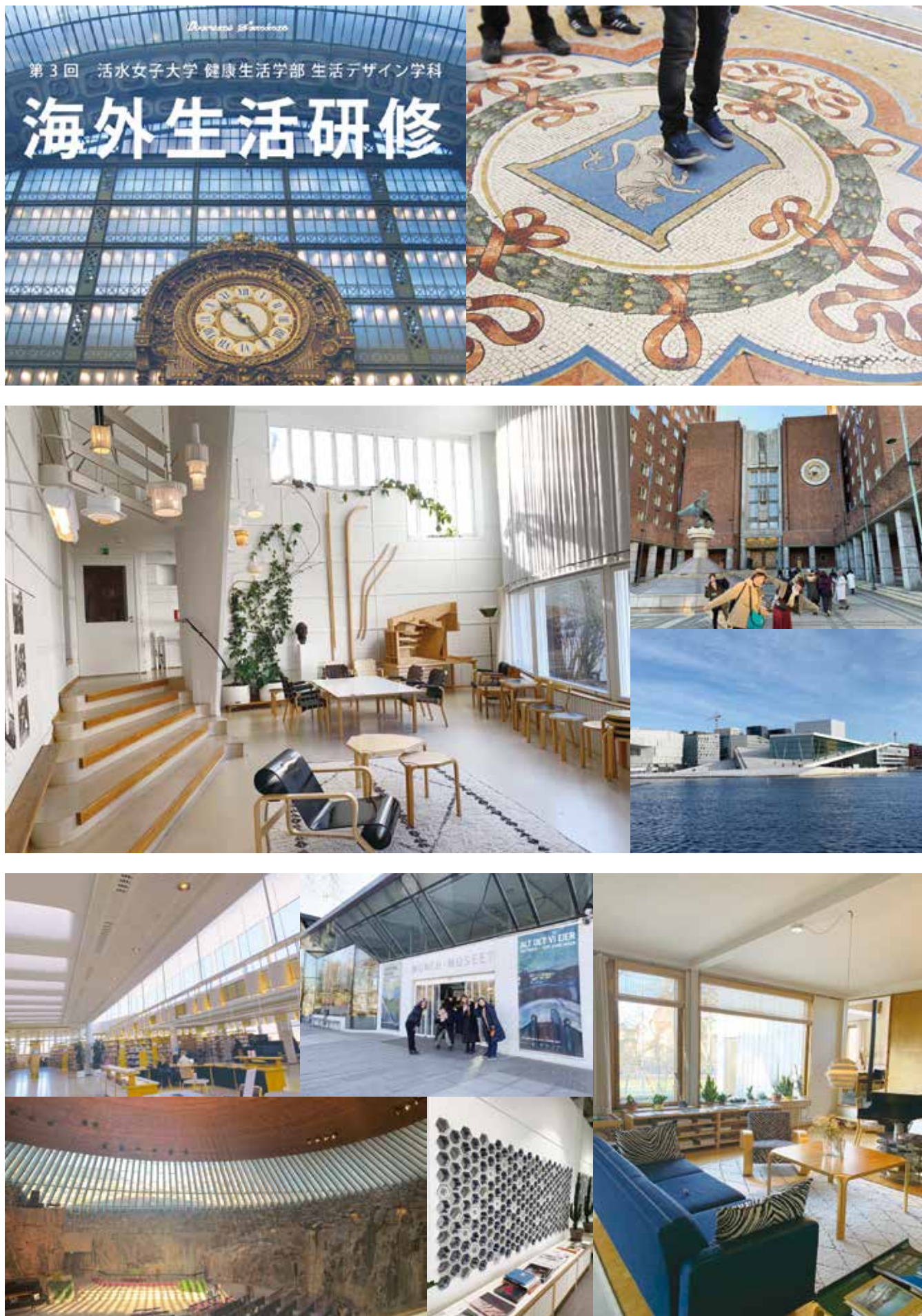
長崎べっ甲ロゴデザイン
友池 知郁さん



工房訪問 体験



新大工商店街べっ甲アンケート調査







DESIGN

AND SCIENCE FOR HUMAN LIFE



活水女子大学 生活デザイン学科 作品選集

教員

浜谷 信彦：デザイン（商品企画・地域・工芸）、陶磁造形

橋口 剛：建築学、地域・環境計画

毛利 洋子：建築学、インテリア、都市デザイン

稲田 文：被服分野、繊維・高分子化学、染色、家庭科教育

古賀 竣也：教育工学、科学教育

小畑 拓未：建築学、建築環境、建築設備

寺田 貴子：アパレル科学、繊維科学、高分子材料学

地頭菌 健司：教育経営学、学校組織マネジメント

実習助手

浦田 智子 藤田 順子

編集デザイン

活水女子大学 浜谷 信彦 株式会社インテックス

発行（2022.4）

©2022 KWASSUI WOMEN'S UNIVERSITY. Printed in Japan

禁無断転載・複写

活水女子大学 健康生活学部 生活デザイン学科

〒850-8515 長崎県長崎市東山手町 1 番 50 号

TEL：095(822)4107

<https://www.kwassui.ac.jp/university/>